

三鷹市立第四中学校 令和5年度【国語】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○毎時間の学習のねらいを明確にし、どんな力を身につけるのかを意識して学ぶ力を高めることができた。</p> <p>○タブレットを活用して、生徒の興味・関心に応じて主体的に調べたり、まとめたり、発表したりする課題を設定することができた。タブレットを活用する知識・技術を向上させることができた。</p>	<p>【現状】</p> <p>○学習活動における問いに対して、自分の考えを話したり書いたりして伝えることができる。</p> <p>○自ら学ぶ力が付いている生徒については、主体的に取り組む課題について、意欲的に取り組む姿が見られる。</p> <p>【課題】</p> <p>○基礎学力の個人差が大きい。そのため、よく話は聞いているものの理解できていない生徒への支援が必要である。</p> <p>○文学的文章の読み取りにおいて、出来事や行動などから心情をつなげて考える力が不十分である。</p> <p>○説明的文章の読み取りにおいて、筆者の考えと事実を読み分ける力が不十分である。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○考えの交流や共有を行うための学習用タブレット端末を活用した指導が課題として挙げられる。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○文章の中心的部分と付加的部分の関係に注意し、事実と意見との関係を捉えるために、叙述や文末表現、接続する語句に注目して読む時間を確保する。</p> <p>○登場人物の心情の把握の際には、出来事や行動の叙述に着目させる。</p> <p>○タブレット端末を活用した学習活動を積極的に設定し、様々な方法で主体的に学ぶ力の向上を図る。特に、意見交換の際にはより多くの意見に触れられるようにタブレット端末を導入していく。</p>
第2学年	<p>○文章の中心的部分と付加的部分の関係に注意し、事実と意見との関係を捉えるために、叙述や文末表現、接続する語句に注目して読む時間を確保することができた。</p> <p>○タブレットを活用した学習活動を積極的に設定し、様々な方法で主体的に学ぶ力の向上を図ることが引き続きの課題である。</p>	<p>【現状】</p> <p>○苦手としていた文章の叙述をもとに事実と意見の関係を捉える力が身に付いてきている。</p> <p>○授業の目標に向けて、自分なりの学習方法で目標を達成しようとする姿勢がある生徒が増えている。</p> <p>【課題】</p> <p>○自身の経験をもとに書いたり話したりする力が不十分である。テーマに対して、自身の経験を繋げることを苦手とする生徒が多い。</p> <p>○自身の課題や学習目標を達成するための手立てが確立できていない生徒もいる。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○対話的・協同的に学ぶ学習活動の設定を積極的にしていく必要がある。</p> <p>○学習のモデルを提示しながら、主体的に学ぶ方法について指導していく必要がある。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○タブレットの機能を使った意見交流や、スライドを使ったプレゼンテーション形式の発表の機会を設けることで、自分の考えを、根拠を具体的に明確に伝える力を養い、説得力のある表現ができるようにする。互いの発表を聞き合い、評価する力も養う。</p> <p>○授業内のワークシートに記述する際に、解答としての形を整えたり、文末表現を意識したりできるよう指導しながら時間を十分に取る。発展的指導として、学んだことや読解力を別の文章で生かす課題を行い、身に付けた力を確認する時間を設ける。</p>
第3学年	<p>○交流の機会を多く設け、多面的な捉え方を学ぶことができた。</p> <p>○互いの発言を検討して自分の考えを広げる活動を通して、思考力・表現力を向上させた。</p> <p>○自分の考えの根拠を、具体的に明確に伝える力を養い、説得力のある表現を工夫した。</p>	<p>【現状】</p> <p>○互いの意見を交流する活動に積極的である。</p> <p>○授業中の課題や小テストに主体的に取り組む。</p> <p>○調査(国)の正答率は平均が82%で、全国平均より12.8%、都平均より10%高かった。</p> <p>【課題】</p> <p>○自分の考えはあるが、論理的に説得力をもって説明する力は弱い。</p> <p>○文学的文章・説明的文章の構成をとらえる際、長文を平板に読んでしまって内容を捉えられない生徒がいる。</p> <p>○問題を解いても、解答としての形が整えられないことがある。</p>	<p>【課題】</p> <p>○書く力を高める指導の工夫が必要。</p> <p>【改善策】</p> <p>○補充的指導として、論理的な繋がりを意識した意見作文を書く活動を行う。その際、説得力のある文章のためには、根拠とその具体例を工夫して書く必要があることを指摘する。</p> <p>○鑑賞文や批評文など、意見文以外にも根拠を述べる文章を書く機会を増やす。</p> <p>○教科書の長文を扱う単元において、接続詞の働きや文末表現に着目するなど、今までに学んだ読み方を生かして読解する活動を行う。同時に、接続詞や文末表現を自分の文章表現にも活かせるようにする。</p>